

教科 国語 科目 論理国語

单位数： 2 单位

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者に関わり合いの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・筆者の発想のしかたや論の展開の特徴を読み取る。 ・「贈り物」についての筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。 ・問題提起と答えとをつなぐ論理の展開を的確に読み取る。 ・現実世界を認識する上での言語の役割を理解する。	・「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・消費されるスポーツ ・猫は後悔するか	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、一般的な解釈と、筆者の解釈の違いを意識しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	21
	・相手に応じた適切な表現を選んで書く。 ・語彙の難易度やニュアンスに注意して書く。	・相手を意識して書く ・「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ ・猫は後悔するか	【知識・技能】 ・教材文の主旨を変えないように、相手に即した語彙・表現に書き換えている。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、相手の予備知識に応じて情報を整理し、文章構成を工夫して、主旨を的確に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・成果物を読み合い、学びの成果を言葉で表現しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		2
2 学期	・具体的な説明と抽象論との関係をとらえる。 ・筆者の身体観を的確に読み取り、身体や自己意識に対する認識を深める。	・日常に走る亀裂 ・リスク社会としての現代	【知識・技能】 ・使用されている語句の定義を確認しつつ理解を深めている。 ・文や文章の接続の仕方や構成をとらえ、論の形式について理解を深めている。 ・情報どうしの関係づけのしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容・構成を的確にとらえ、筆者の意図と考えられることとの関係をとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・従来の物事のとりえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。	○	○	○	22
	・対比しながら論じることの効果を理解する。 ・対比を効果的に用い、特徴を明確にして書く。 ・異なる立場の主張について、共通点・相違点をつかむ。 ・多様な意見をふまえて、自分の意見を書く。	・対比して論じる ・対立した意見をふまえて書く	【知識・技能】 ・書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、対比の構造をとらえて文章を書こうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		2
3 学期	・共通テストの問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解する。	・共通テスト対策演習 ・入試問題演習	共通テスト等の問題演習を通じて、大学がどのような力を持った学生を入学させたいのかを理解している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70